

「福島その先の環境へ。」視察ツアー来訪

2月13日(金)と15日(日)の2日間、環境省主催の「福島その先の環境へツアー2025」で、全国から大学生や若い社会人の方が視察に訪れました。このツアーは福島の復興と環境再生をテーマに、新産業や新技術の取り組みを紹介し、福島の将来について考えるきっかけ作りを目的に開催されています。当日は大学生ら約30人がトロピカルフルーツミュージアムを訪れ、バナナ栽培の様子や地中熱システムの活用状況などを見学しました。ツアーを通して、将来を担う全国の若者たちに福島の「いま」を知っていただく貴重な機会になりました。



バナナ栽培を見学するツアー参加者

福島民友新聞社杯パークゴルフ大会を開催



入賞者の皆さん

降雪予報により延期となった「福島民友新聞社杯パークゴルフ大会」が2月15日(日)に開催されました。当日は天候にも恵まれ、最高気温16℃と春の陽気の中でのプレーとなりました。開会式では、福島民友新聞社ふたば支社の國分支社長と広野町の小松町長が挨拶し、和やかな雰囲気で大大会がスタートしました。結果は、広野町の門馬貞雄さんがスコア116を記録し、男性の部で見事準優勝に輝きました！たくさんのご参加ありがとうございました。

バナナスイーツ新商品のお披露目会

2月17日(火)、トロピカルフルーツミュージアムにおいて、ふたば未来学園の高校生による、広野産バナナ『綺麗』を使用した新しいスイーツのお披露目会が開催されました。今回考案されたのは、スノーボールクッキー「バナポー」と蒸しケーキ「広野の朝陽」の2種類です。「バナポー」は、昨年夏に開催された『スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップ』で広野町を担当したパティシエの小林美貴さんと高校生がコラボして開発したものです。新しいスイーツはどちらも税込150円で、4月以降に振興公社や校内のカフェ、ウェブサイトやイベント会場などで販売される予定です。



新作スイーツ試食会の様子



公式サイト



公式インスタ

広野で見つける暮らしのカタチ 広野暮らし相談窓口「りんくひろの」



レポート 「広野町・檜葉町・いわき市 合同移住セミナー」初開催しました。

2月28日(土)に東京有楽町のふるさと回帰支援センターで「広野町・檜葉町・いわき市 合同移住セミナー」を初開催しました。「東北のハワイ」と言われる温暖な気候のエリアとして3市町の生活環境や支援制度などを紹介しました。先輩移住者のクロストークでは広野町地域おこし協力隊の石田さんに先輩移住者として登壇いただき、広野町の魅力を発信していただきました。今後も近隣自治体と連携し首都圏にて広野町のPR活動を推進してまいります。



広野町PRブース



広野町PRタイム



先輩移住者クロストーク(石田さん)



東北のハワイクイズ

地域おこし 協力隊 ひろの日記



こんにちは!広野町地域おこし協力隊の石田祥子です。3月は、地域おこし協力隊活動報告会を開催しました!町内外から30名の方にご参加いただきました。前半は、私が広野町に出会った経緯や東京都で広野町への移住を促す活動をしていることなどをお話ししました。後半はワークショップを行い、私が今後取り組む活動について参加者の皆さんとお話ししました。地域の皆さんに私の活動を知ってもらうことができ嬉しかったです。私が着任してから、1年が経過しました。2年目はより町民の方と交流を深めながら活動していきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いします。



地域おこし協力隊活動報告会の様子

問 広野暮らし相談窓口「りんくひろの」 ☎0240-27-1251